

須知高校生のみなさんへ

令和4年度 第1学期始業式 式辞

みなさん、おはようございます。まん延防止等重点措置が3月21日をもって解除となりましたので、このように1学期の始業式を実施することができ、大変うれしく思っております。

しかし、新型コロナウイルス感染症が収束しているわけではなないので、今後も気を緩めることなく、「自分が感染しない」「ほかの人に感染させない」「感染をひろげない」という3つの意識を持って、これまでと同様に感染防止に努めてください。

さて、3学期の終業式では春休みを次の学年に繋げる準備期間にして欲しいと話しましたが、その準備はできましたでしょうか？ 今からでも遅くないので、まず、行動を起こしてください。

1学期の始業式にあたり、生徒のみなさんには、脳について研究されている医師で「脳の学校」の代表でもある加藤俊徳<sup>としのり</sup>さんの言葉を紹介したいと思います。加藤さんは「脳にベクトルを持つ」ことの重要性を伝えておられます。人間というのは、得意な脳番地でものを考えます。人生において何らかの明確な目標を持ったり、自分の得意な分野を作り上げていくことは、そこで活性化される脳番地を中心に物事を考えることに繋がります。そしてそれがその人の思考の視点となるのです。強い目的をもってまっしぐらに進んでいく人の脳が著しく活性化され、成功を掴むことができるのは、脳の観点からも理解できます。逆に、漫然と人生を過ごしている人は、脳にベクトルがないために思考の視点が定まりません。人間的にも魅力的な特徴に乏しく、飛躍的な成長もあまり期待できないと思います。日々を漫然と過ごさないためにも、先にやることを明確に設定することが大事です。明確な目標があることによって、それに対応する脳番地が活性化されるのです。目標が定めにくい人は、尊敬する人物をイメージすることをお勧めします。その人に追いつき、追い越そうとすることで、脳には容易に一つの方向性が与えられます。

みなさんも自分がこうなりたいという明確な目標を持ち、脳を活性化させる充実した高校生活を送って欲しいと思います。さあ、今から実行しましょう！

以上で1学期始業式の式辞とします。

令和4年4月8日

須知高校 校長 湯川 佳秀